

平成 23 年 9 月 27 日

受益者の皆様へ

DIAMアセットマネジメント株式会社

当社ファンドの基準価額下落について

以下の通り、当社のファンドにおいて基準価額が大きく下落いたしましたので、お知らせいたします。

1. 基準価額および下落率（9月26日現在）

ファンド名	基準価額(円)	9月22日比(円)	下落率
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <南アフリカランドコース>	7,024	532	7.041%
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <豪ドルコース>	8,519	618	6.764%
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <インドルピーコース>	7,559	448	5.595%

(ご参考)

ファンド名	基準価額(円)	9月22日比(円)	下落率
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <ブラジルリアルコース>	7,264	382	4.996%
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <ロシアルーブルコース>	7,357	347	4.504%
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <米ドルコース>	8,264	251	2.948%
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <中国元コース>	8,452	252	2.895%
みずほ世界不動産投信(通貨選択型) <円コース>	9,682	253	2.547%

当資料は3枚ものです。P.3の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等：DIAMアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
 加入協会：（社）投資信託協会 （社）日本証券投資顧問業協会

110927投信業管313929-臨時開示-1

2. 市場の動向

22日は世界的な景気後退懸念や欧州の債務問題などから、世界の株式市場や商品市場が大きく下落しました。欧米の景況感指数が悪化しただけでなく、中国でも景気減速を示す景況感指数が発表されたことなどから、世界経済の減速懸念が高まりました。投資家心理の悪化の影響を受けて不動産関連証券も同様に下落しました。

為替市場では、依然としてリスク回避の動きが高まっており、新興国通貨が総じて下落しました。商品市場の下落を受けて資源国通貨を中心に下落し、豪ドル、インドルピー、南アフリカランドなどの通貨の下落幅が大きくなりました。

主要指数	終値 (9月22日)	9月21日比	下落率
FTSE EPRA/NAREIT 先進国 REIT インデックス (円ベース、配当込み、為替ヘッジなし)	691.46	26.64	3.71%
FTSE EPRA/NAREIT 新興国 インデックス (円ベース、配当込み、為替ヘッジなし)	1,261.84	81.62	6.08%

(基準価額への反映を考慮して9月22日の値および下落率を表示しております。)

3. 今後の見通し

引き続き、不動産関連証券のファンダメンタルズやバリュエーションは、相対的に良好です。一方、市場では、世界的な景気減速の懸念が高まっています。雇用環境の悪化や消費の落ち込みによる企業収益見通しの低下は、株価の下落要因になりますが、最近の大幅な下落により相当程度は既に株価に織り込まれていると考えられます。数週間後に迎える企業決算発表は市場予想を上回ると見ており、投資家の信頼感が戻れば、株価の上昇が期待されます。不動産関連証券も割安な価格で取引されており、良好な利回り水準にあります。

今後も市場の変動性の高い環境が続くと見られますが、不動産関連証券は、安定した利回りなどから魅力的な投資機会を提供すると考えられます。

以上

“FTSE”及び“FTSER”は、ロンドン証券取引所(London Stock Exchange Plc)並びにフィナンシャル・タイムズ社(The Financial Times Limited)の商標であり、ライセンスに基づいてFTSEが使用しています。FTSE EPRA/NAREIT各インデックスは、FTSEの商標であり、本指数の算出、指数値の公表、利用など、本指数に関するあらゆる権利はFTSE又はその関連パートナー会社に与えられています。FTSEは、本指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性について、明示的、黙示的を問わず保証するものではありません。また、算出又は公表の誤謬、遅延または中断に対し、一切責任を負いません。

当資料は3枚ものです。P.3の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
 加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

110927投信業管313929-臨時開示-1

[お申込みに際しての留意事項]

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式・公社債及び不動産投信(リート)等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては 投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧下さい。

投資信託に係る費用について

ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。

申込時に直接ご負担いただく費用	: 申込手数料	上限3.675%(税込)
換金時に直接ご負担いただく費用	: 信託財産留保金	上限0.5%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	: 信託報酬	上限1.995%(税込)
その他費用	: 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。 投資信託説明書(交付目論見書)等でご確認下さい。	

(ご注意)

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、DIAMアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率を記載しております。特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

[本資料のお取扱いについてのご注意]

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。

当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

投資信託は、株式・債券及び不動産投信(リート)等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

当資料における内容はあくまでも作成時点(2011年9月27日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

投資信託は

1. 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料は3枚ものです。P.3の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
 加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会